



吉川淑子議員

給食センター

# 学校給食は地産地消で

## 町の地場産品を活用

**質問** 学校給食について問う。

①地産地消の推進  
米、魚菜類は地場生産されたものを活用すべきと考えるが。

②給食費の滞納が予想されるが、徴収方法はどうか。また、生活困窮世帯への対応は。

③給食センターの配給能力は、将来、児童生徒が減少すれば余裕が出てくると思う。学校給食以外の活用も考えているか。

**沼崎町長**

①基本的に町の地場産品を食材として活用し、安全で安心な季節感のあるおいしい学校給食の提供を目指していく。地場産品

その他の質問

◆学校教育環境の充実について

◆「やまだ男女共同参画推進プラン」について

の活用を推進するため、本年度中に関係機関、団体と連携する会議を立ち上げて、食材供給システムの構築に取り組みことを考えている。

**岩船教育長**

②学校にあまり負担がかからないよう、保護者が金融機関で口座振替、もしくは納付書で納入する方法を考えている。生活困窮世帯については、何らかの基準を設けて負担の軽減を図る方向で検討する。

③学校給食センターは文部科学省の補助事業で建設するので、補助事業の目的に沿った利用が基本である。

### 児童福祉

## 放課後児童クラブは

## 平成23年度船越地区に開設

**質問**

子供を安心して生み育てる地域社会について。

①病児・病後児保育事業の利用児童数と保育料はいくらか。利用手続きはど

うなっているか。

②放課後児童健全育成事業の放課後児童クラブは現在3カ所であるが、あと2カ所の拡大予定計画の

具体的内容を示せ。

**沼崎町長**

①現在15名の児童が事前登録を行っており、平成22年度においては11月末で延べ10名が利用している。保育料は、3歳未満児が月額2000円、3歳以上児が月額1500円で、4時間未満の利用の場合はその半額となる。利用手続きは、利用の可否について主治医が署名した「診療情報提供書」を添えて申し込むことになっていて、それに基づき保育所長が利用承認を行っている。

②平成23年度は船越地区、25年度は豊間根地区に開設する予定である。

### 町の考えを聞く



放課後児童クラブでみずき団子づくり(関口児童館)